

愛知県議会議員

桜井 ひでき

現場の声を
県政に!

県政レポート

2023年8月
発行：桜井ひでき事務所

vol. 18



message

コロナを克服し、日常を
取り戻していく夏に!

この5月より新型コロナウイルス感染症の分類は5類へ移行され、季節性のインフルエンザ並みとなりました。日本のみならず世界を震撼させた感染症は約3年の経過とともに考え方にも変化が見え、この夏は各地で多くの行事が再開され、コロナ前の活気が戻りつつあります。しかしコロナ禍で停滞した影響は大きく、運営にあたる方は大変なご苦労もありますが、市民・県民の笑顔のために地域に元気を取り戻す活動への取組に期待をします。

さて、改選後の初めての議会は、多くの人の入れ替わりがあり、所属している会派名も「**あいち民主県議団**」へ名称変更となりました。また、今年度は政策調査会長を担い、政策実現に向け、引き続き、全力で取組んでまいります。



同期である、松本まもる議員(左)、おぎぞ史人議員(右)と共に、引き続き、政策実現に向け取組んでまいります!

TOPICS
1新体制で
活動します!

改選後のあいち民主県議団の総会におきまして、令和5年度あいち民主県議団の役員として「政策調査会長」に就任し、団の政策全般を担うことになりました。

豪雨による被害への
対応を知事に要望!

6月2日、台風2号や前線の影響により、本県では東三河地域を中心に記録的な豪雨となりました。道路の冠水や川の越水、土砂崩れなどにより人命が失われるとともに、複数の家屋で浸水被害が発生したほか、農作物や農業用施設、旅館をはじめとした事業者の施設・設備にも甚大な被害が発生したことを受けて、愛知県に対して早急に被害の全容把握と対応をするよう要望いたしました。

※後日、6月議会の追加補正予算に繋げました!

桜井の
意見!

今後もあいち民主県議団では
タイムリーな要望活動をおこないます!



代表質問

6月19日(月)～7月6日(木)までの会期で6月定例議会が開催され、自由民主党・あいち民主の2会派が代表質問をおこない、

あいち民主県議団からは、総務会長である鳴海やすひろ議員(中村区選出:3期)が登壇し、県政諸課題について県の考えを質しました。



質問1 5類感染症への移行後の新型コロナウイルス感染症対策について

Q 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したが、重症化リスクの高い高齢者施設入所者等の方々の生命と健康を守るため、県としてどのように取組んでいくのか伺う。

大村知事 答弁

5類感染症への移行後においても、県民の皆様に寄り添いながら、生命と健康を守ることを最優先して取組んでいく必要があると考える。とりわけ、重症化リスクの高い高齢者が生活している高齢者施設等における感染防止対策の取組は大変重要。そのため、高齢者施設等の職員の方への定期的なスクリーニング検査を継続実施するとともに、施設内で新規陽性者が発生した際には、入所者等に対するPCR検査を速やかに実施できる体制を維持し、感染拡大防止を図っている。また、医療体制のひっ迫を防ぐための本県独自の取組では、施設内で療養中の入所者に対し、緊急の往診・訪問看護を行う医療機関への支援を継続するほか、透析患者で通院が困難な高齢者などの搬送支援にも取組むなど県民の皆様の生命と健康を守るため、医療提供体制に万全を期するとともに、感染状況と入院患者の状況を注視しながらしっかり取組んでいく。

代表質問する
鳴海やすひろ議員

質問2 中小企業の人材確保支援について

Q 中小企業の人材確保に対する支援について、どのように取組んでいくのか伺う。

大村知事 答弁

本県は、これまで、中小企業経営者と学生との交流会や、「ヤング・ジョブ・あいち」での若者の就職相談などにおいて、学生等に対し中小企業への関心拡大と就労促進を図ってきた。今年度は、こうした取組に加えて、人手不足を背景に採用活動に厳しさが増している建設、介護、運輸、警備業の中小企業を対象に、求職者の入社動機を高めるための知識及び手法を習得する機会や、「業界研究フェア」において、業界や企業の魅力を直接アピールする実践の場を提供する。さらに、「合同企業説明会」で中小企業と求職者のマッチングを図るなど、採用活動と求職活動の初期段階から寄り添った支援を実施していく。人材確保は、地域全体での取組が必要であることから、今後とも、ハローワーク等関係機関と連携しながら、中小企業の人材確保支援にしっかりと取組んでいく。



答弁する大村知事

質問3 特殊詐欺や侵入盗対策について

Q 本県における本年1月以降の特殊詐欺並びに侵入盗の情勢を踏まえ、未然防止や犯人の検挙について、どのような対策を進めているのか伺う。

鎌田警察本部長 答弁

特殊詐欺は、本年5月末現在の認知件数は517件と前年同期比で187件増加。特徴は、被害者の約8割が高齢の方方で、被害の多くが固定電話への着信が契機となっている。

未然防止対策については、犯人と直接会話することを避けるため、被害防止機能付き電話機の普及に加え、留守番電話設定の促進等に取り組んでいる。検挙対策については、被害発生時の迅速な対応による現場検挙はもちろん、組織の中核被疑者に対する突き上げ捜査や犯罪収益の剝奪など犯罪組織に実質的な打撃を与える取組を推進している。

侵入盗については、本年5月末現在の認知件数は1,361件と前年同期比で208件増加。特徴は、出店荒し被害の増加が著しく、組織窃盗グループが特定の業種や業態の店舗に狙いを定め、犯行を繰り返していることなどが挙げられる。未然防止対策としては、店舗などでは現金を保管しないことや防犯性能の高い金庫の活用を働き掛けているほか、まちの防犯診断やトライアルカメラの活用を通じ、犯罪の起きにくい社会づくりを推進している。検挙対策については、組織窃盗グループの戦略的な取締りに加え、こうした犯行グループの犯行を支える、いわゆる犯罪インフラの供給者の検挙も強力に推進している。今後も県警察の総力を挙げた取組を推進していく。



答弁する鎌田警察本部長

主な議案

6月定例議会では、出産・子育て支援の取組を強化し、少子化対策をさらに推進することに加え、知的障害特別支援学校の教室不足を解消。また、6月2日の台風被害への対応などの補正予算約74億円他すべての議案が可決されました。

出産・子育て支援の取組を強化し、少子化対策をさらに推進します。

1 男性の育児休業取得を促進する中小企業等への支援

誰もが仕事と子育ての両立を実現できる職場環境整備を促すため、男性従業員が育児休業を取得した中小企業等に対して、奨励金を支給。

2 低所得世帯への子育て支援

2022年度から開始した国制度である、妊娠期から出産・子育てまでの伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施する「出産・子育て応援交付金」の給付事業について、県独自に低所得世帯を対象とし拡充。

3 さまざまな問題を抱える妊産婦への支援

- 不安を抱える妊婦等に対するSNSを活用した相談支援及び産科受診同行等のアウトリーチ型相談支援の実施
- 多胎児家庭を対象とした交流会の開催
- 健やかな妊娠・出産を支援するためのポータルサイトの開設
- 各種シングルマザー支援制度の紹介や先輩ママの体験談を掲載した普及啓発冊子の配布
- 里親制度や相談窓口を周知する啓発カードの配布やインターネット広告の実施

先進技術を活用した市町村のまちづくりの取組を促進します。

県内市町村を対象に、ICT等の先進技術を活用したスマートシティのモデルとなる取組を追加公募・支援し、その成果について他の市町村へ横展開を図る。

○スマートシティモデル事業

県が、市町村と企業等からなるコンソーシアムから、先進技術を活用したまちづくりの社会実験に関する提案を追加公募し、優れた提案を選定・事業委託します。
※分野の例：モビリティ、エネルギー、通信・データ、医療・福祉・健康づくり など



肢体不自由特別支援学校における長時間通学の解消及び知的障害特別支援学校の教室不足を解消します。

○港特別支援学校の長時間通学を解消するため、名古屋東部地区に肢体不自由特別支援学校を新設します。

場 所：名古屋市天白区菅田一丁目地内
(天白学校体育センター)

学校規模：24学級73人程度(小学部・中学部・高等部)

開校予定：2027年4月

通学区域：名古屋市緑区、名東区、天白区、
豊明市、日進市、東郷町

○三好特別支援学校の過大化による教室不足を解消するため、西三河北部地区に知的障害特別支援学校を新設します。

場 所：豊田市亀首町地内
(私立南山国際高等学校・中学校跡地)

学校規模：41学級216人程度(小学部・中学部・高等部)

開校予定：2027年4月

通学区域：豊田市(南西部除く)

6月2日の大雨で被災した施設の復旧を進めます。

公共土木施設

土木施設災害復旧費
道路・橋りょう 55箇所
河川・海岸 72箇所
砂防 10箇所
公園 9箇所
港湾・漁港 3箇所
緊急砂防事業費
砂防えん堤 1基
東三河ふるさと公園整備事業費
7箇所
流域下水道建設事業費
流入水監視設備 12箇所

農林水産関連施設

農地施設災害復旧費
農地 312箇所
農業用施設 266箇所
災害林道復旧費
5路線
災害荒廃地復旧費
山地 11箇所
治山施設 2箇所
農林水産共同利用施設災害復旧費
農業協同組合 2組合

社会福祉施設

県立福祉施設災害復旧費
愛知こどもの国 5箇所
社会福祉施設災害復旧費補助金
介護事業所 5施設
障害者施設 2施設



TOPICS
3

第3回愛知カーボンニュートラル懇話会にて 地方議員の活動を報告

2年前より愛知県内の自民党・公明党・立憲民主党・国民民主党の国会議員が党派を超え、カーボンニュートラル実現に向けた取組を知事に要望する懇話会の中で、全トヨタ労連政策推進議員連絡会における地方議員の活動を知事・国会議員のみなさんに報告させていただきました。

桜井の
意見!

全トヨタ労連に所属している地方議員50名がそれぞれの議会のなかでカーボンニュートラル(脱炭素)に向け、活動しています。



TOPICS
4

農林水産委員会で愛知県の 林業従事者育成について質問!

質問1

「あいち林業技術強化カレッジ」
の開設の経緯とその内容はどのようなか、
また、期待される成果は?

答弁

経緯は森林組合等に対するヒアリング結果や林業関係4団体から提出された要望書を参考に、基本計画に「経験年数や知識・技術レベルに応じた研修の実施」の取組を位置づけ開設した。成果については受講すべき研修がわかりやすくなり、効率的にスキルアップが図られること、林業経営体にとって、人材育成の中長期的な計画がたてやすくなり、組織全体で技術力の向上が図られるものと考えている。

質問2

森林環境譲与税を
更に有効活用し、労働環境
改善を含めた人材育成の
取組を拡大させる必要が
あると考えるが所見を伺う。

答弁

森林環境譲与税については、法律で定められた使途に合わせ、県では広域的に実施する取組として、人材の確保・育成に活用している。県では、市町村に対し、森林環境譲与税を活用した人材育成の取組が広がるよう、先進事例の情報提供や助言を積極的に行っていく。



日々の活動

5/
27(土)

ユタカクラブ
議員協議会
第51回総会

会長に就任して初めての総会となりました。今後産業政策を中心に議員の資質向上に努めます。



5/
28(日)

元CBCアナウンサー
丹野みどりさんの
和やかサロンに参加!

話し方の他にも、言葉の重み・表現について多く学びました。



元CBCアナウンサー 丹野みどりさん

6/
7(水)

連合愛知政策推進
委員会との懇談

会派の運営方針、連合愛知からは知事要望の素案の説明をいただきました。



6/
21(水)

全トヨタ労連
加盟組合との
意見交換会

組合役員の皆さんと意見交換をおこない、議員活動についても知っていただきました。



発行: 桜井ひでき事務所

〒471-0832 豊田市丸山町10-5-1
TEL 0565-71-1555 FAX 0565-29-0274

ホームページを是非ご覧ください
<https://sakurai-hideki.com/>



Instagram
を始めました!

